

# 保健体育 ダンス

1年4組  
授業者 菅谷 和美

## ■ 単元の目標

- 自分たちでダンスを創り上げ、グループで協力しながら練習したり発表したりすることができる。
- リズムの特徴をとらえ、リズムにのって全身で踊ることができる。

## ■ I C T 活用の視点

### ○ 思考を促す道具としての ICT の活用

グループの練習でビデオカメラを活用する。ダンスでは自分たちの動きを見ることが大切であり、その方法としてビデオカメラはとても有効である。自分たちの動きを画面で映し、それを見ることで改善点を見つけ、話し合いを行いながらより良いものを考えていくことができる。

### ○ 創造性を促す道具としての ICT の活用

今回はビデオカメラを2つの方法で活用する。一方は、撮影したものをテレビに映して、話し合いを行いながら踊りを創り上げていく場である。もう一方は、踊りながら自分たちの姿が見られるよう、スクリーンに大きく映す場で、ビデオを鏡のように活用する場となる。

### ○ 本時における ICT 機器の位置づけ

本時では、できあがったダンスをより良く改善していく手段としてビデオカメラを活用する。改善の手立てとしては、他のグループなどから見てもらいアドバイスをうけるという方法もあるが、やはり1番は自分たちの踊っている姿を見ることである。自分たちの踊りを映像で見ることで、より良いダンスを創りあげていく手立てとする。

## ■ 本時の授業の概要

発表会に向けて、グループごとに仕上げの段階となる練習を行う。発表では「大きく」「そろえて」「リズムにのって」の3つを気をつけながら踊ることを目標としている。ビデオを活用しながら、3つの観点ができているかをチェックしたり、より良くなる工夫がないかを考えていく授業となる。

学習活動	指導上の留意点
1.集合、整列、挨拶をする。	
2.本時の目標を確認する。	発表会に向けて最終確認をしよう。
3.グループごとに練習する。(ビデオカメラを使う)	<p>ビデオ1 ビデオで撮影したものをテレビに映す。</p> <p>ビデオ2 踊っている姿を、そのままスクリーンに映す。</p> <p>* 1と2の場所は、20分で交代する。</p> <p>「大きく」「そろえて」「リズムにのって」が十分にできているグループには、フォーメーションや移動の工夫にチャレンジするようアドバイスし、昨年度の先輩のビデオなどを準備し、参考にできるようにしておく。</p>
4.集合、整列し本時の反省をする。	